

京都大学 経営管理大学院

リカレント教育プログラム

上級経営会計専門家 (EMBA) 養成プログラム



お問い合わせ先

一般社団法人 日本経営会計専門家協会 事務局

〒101-0047

東京都千代田区東京都千代田区内神田 2-4-2

一広グローバルビル 9階 株式会社日本 BIG ネットワーク内

TEL:03-6214-2455

Email: info@jimap.jp



SMAP

上級経営会計専門家

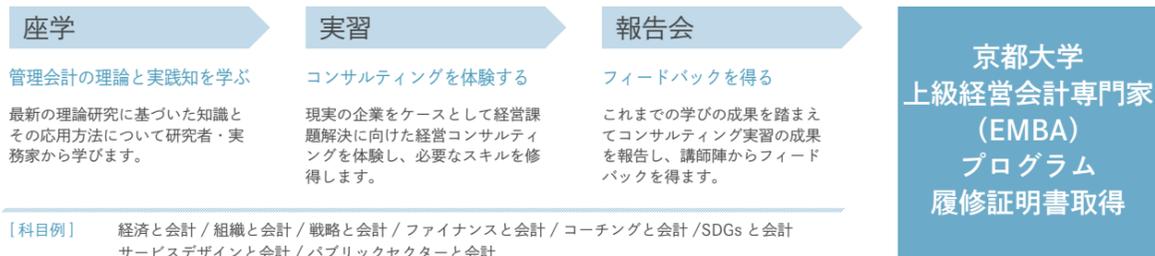
理論に裏付けられた実践を

Senior Management Accounting Professional

上級経営会計専門家は税理士や会計士、中小企業診断士などの実務経験を持ち、自身の事業を運営している方向けに設計されています。

日々クライアントと向き合う中で、様々な実践知が蓄積されている一方で、多忙であるがゆえにそれを体系的に整理しきれていないといった状況が見受けられます。その場合、自分の知識や経験を他社に論理立てて説明できないといった問題が生じます。この時に一助となりうるのが研究者によって蓄積されている理論的な知識です。上級経営会計専門家資格では第一線の研究者から多様なテーマについてアカデミックな知識を学ぶと共に、それを実践することを目標としています。

学習の流れと資格認定



【科目例】 経済と会計 / 組織と会計 / 戦略と会計 / ファイナンスと会計 / コーチングと会計 / SDGs と会計 / サービスデザインと会計 / パブリックセクターと会計

上級経営会計専門家資格認定

プログラムを修了することで京都大学経営管理大学院から履修証明書が発行されます。ただし、本プログラムの修了によって学位が授与されるわけではありません。プログラムの修了の後、経営会計専門家協会の審議を経て経営会計専門家資格が認定されます。



京都大学 経営管理大学院 教授
澤邊 紀生

経営者と会計士が協力して企業を伸ばすために

上級経営会計専門家 (EMBA) プログラムの目的は、企業経営の支援に学問的裏付けを持っていただくこと、学問と実務の連携の中でリーダーシップを発揮できる人材を育成することの2つです。世界では特に欧米を中心として、専門家団体が複数設置されるなど、管理会計の専門家はプロとして認められています。ところが日本では「失われた20年」が過ぎてきてもなお、会計的知識を経営に活用しようという機運が高まりません。経営資源の最適活用を経営者にアドバイスし、高付加価値経営に導いていくべき会計士がその役割を十分に果たしていないのです。

日本は技術力も営業力も、また民度も世界的に見て高いのに、利益率が低いです。これは努力至上主義的で、額に汗して頑張ればどうにかなるという精神論を持つ経営者が多いからだと思います。もちろん努力は大事ですが、経営者ならもう一つ忘れてはならないことがあります。成果を出すという責任です。

成果を出すのに重要なファクターが会計です。そこで会計士が経営者のコーチ役になり、会計人と経営者が協力して企業を伸ばしていくことが必要になります。コーチングのできる会計士が増えれば、中小企業が息を吹き返し、ひいてはGDP引き上げにつながるでしょう。これがEMBAの基本構造です。

カリキュラム (カリキュラム詳細は別紙)

テーマ	開催日程	講師
経済社会と会計 コンサルティング実習に向けて	7月 第1週 土曜日 日曜日	澤邊紀生 (京都大学経営管理大学院教授) 藤井敏輝 (株式会社至高代表取締役会長) 太田一郎 (株式会社野村総合研究所コンサルティング事業本部パートナー)
組織と会計	7月 第3週 土曜日 日曜日	丸田起大 (九州大学教授) 横田絵理 (慶応義塾大学教授) 平原健志 (サンフロンティア不動産株式会社)
戦略と会計	8月 第2週 土曜日 日曜日	藤野雅史 (日本大学教授) 若山恵佐雄 (株式会社若山経営代表取締役社長)
ファイナンスと会計	9月 第2週 土曜日 日曜日	篠田朝也 (岐阜大学教授) 永井秀哉 (京都大学経営管理大学院特命教授)
コーチングと会計	10月 第1週 土曜日 日曜日	吉永茂 (公認会計士 京都大学経営管理大学院特命教授) 小屋一雄 (ユーダイモニアマネジメント株式会社代表取締役) 太田一郎 (株式会社野村総合研究所コンサルティング事業本部パートナー) 青木章通 (専修大学教授)
コンサルティングと会計 中間報告会 コンサルティング実習の手引き	10月 第3週 土曜日 日曜日	澤邊紀生 (京都大学経営管理大学院教授) 太田一郎 (株式会社野村総合研究所コンサルティング事業本部パートナー) 木村麻子 (関西大学教授)
コンサルティングと会計	11月 第2週 土曜日 日曜日	澤邊紀生 (京都大学経営管理大学院教授) 太田一郎 (株式会社野村総合研究所コンサルティング事業本部パートナー) 岡田幸彦 (筑波大学教授) 目時社浩 (早稲田大学准教授)
最終報告会	12月 第1週 土曜日	澤邊紀生 (京都大学経営管理大学院教授)



受講生の声は以下サイトをチェック
<https://www.accounting.gsm.kyoto-u.ac.jp/emba-voice/>

テーマごとの学習目標

経済社会と会計	企業や経営者を取り囲む経済社会の現状を理解し、経営会計専門家に今求められている役割とは何かを議論します。
組織と会計	管理会計を導入するにはそれが組織にどのような影響を与えるのかを考慮する必要があります。アメリバ経営を中心として、管理会計が組織を動かすためには何が必要なのかを学びます。
戦略と会計	管理会計を実践する上でその目標としてビジョンや戦略を策定することは重要です。それをどう実現していくのか、バランスト・スコアカードの実践例から学びます。
ファイナンスと会計	経営者の意思決定を支援する会計的手法について、主に投資経済計算技法を取り上げて議論します。
コーチングと会計	企業を支援するためにはチームとして課題に立ち向かわなければなりません。事務所の管理者として従業員とどう向きあうべきか、コーチングの理論を踏まえて学びます。
コンサルティングと会計	経営に実際に支援するためにはその企業の課題を明らかにする必要があります。ROICを用いて仮説思考を養い、それを改善提案に結びつける方法を学びます。

応募要項

出願期間	～6月上旬
出願方法	募集要項ならびに出願書類の書式は、京都大学経営管理大学院「京都大学上級経営会計専門家 (EMBA) プログラム」事務局より電子メール添付にて送付します。希望者は事務局 (adv-ma-office@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp) にご連絡ください。
必要書類	【必要書類】 ① 受講希望票【所定用紙】 ② 最終学歴の卒業 (修了) 証明書 ③ 写真データ (4cm×3cm) 1枚 ④ 協力団体等からの推薦状【所定用紙】
選考方法	書類審査にて行います
受講者発表	電子メールにて通知します
受講料 (教材開発協力費)	110万円 (税込) ※一般社団法人日本経営会計専門家協会へ納付並びに日本経営会計専門家協会への入会 (入会金6万円、月会費1万円)
お申し込み先	京都大学上級経営会計専門家 (EMBA) プログラム 事務局 adv-ma-office@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp tel: 03-6214-2455

募集人数	25名
出願資格	出願時に、次の①から③のいずれかの資格 (または同等の資格・能力) を有し、なおかつ④から⑥に該当する者 (ただし、日本の他大学正規課程に在学中の者は出願できません。) ① 大学を平成31年3月以前に卒業した者 ② 学校教育法 (昭和22年法律第26号) 第104条第4項の規定により学士の学位を平成31年3月以前に授与された者 ③ 外国において、学校教育における16年の課程を平成31年3月以前に修了し、学士学位を取得した者 ④ 出願時点で、日本に在住し、企業、団体に経営もしくは勤務している者、または個人で事業を営む者 ⑤ 出願時点で、公認会計士、税理士、中小企業診断士の資格を有している者、またはそれと同等以上の能力を有すると認められる者 ⑥ 一般社団法人日本経営会計専門家協会の推薦を受けた者* *協力団体からの推薦を受け、一般社団法人日本経営会計専門家協会から京都大学へ受講生を推薦 協力団体: あんしん経営をサポートする会 / 一般社団法人コンサル技連 / 株式会社日本 M&A センター / 株式会社日本 BIG ネットワーク / 株式会社野村総合研究所 / 株式会社M&P経営 / 株式会社YKプランニング / 日本M&A協会 協力団体へ加入されていない方は事務局までご連絡ください。